

MINORU NEWS

東村山市議会議員 渡辺みのる活動報告



市役所からパワハラを根絶を ～市議会が全会一致で決議～

市議会9月定例会での、朝木直子議員（草の根）の一般質問で明らかになった市役所のパワハラ問題。

2016年には、職員がパワハラによって休職に追い込まれたことにより、翌17年に市長が減給処分となりました。市長はその際「再発防止に努める」と、議会で宣言していましたが具体的な取り組みをしていないことも明らかになりました。

共産党市議団にも「パワハラを受けている」という匿名のメールが届いています。市役所内のパワハラは深刻で、早急な実態把握と対策が必要です。

苦情処理委員会に相談するハードルも高く、相談は1件也没有。同じ職員同士の相談ではなく、第三者の相談・調査機関を設置することも検討すべきです。

決議をして終わりのというわけにはいきません。超党派でパワハラを根絶に向けて取り組んでいきます。悩みや困りごとなど、お気軽に相談してください。（※守秘義務は厳守します。）

東村山市役所からパワーハラスメントを 根絶することを求める決議

東村山市役所では、2016（平成28）年に職員による部下へのパワーハラスメントが発覚し、新聞各紙でも報道されるなど、市民に大きな衝撃と不安を与える結果となった。

市長はその際、議会の答弁において再発防止策の実行を約束したが、現状は職員の研修受講等にとどまり、パワーハラスメント被害者を救済するための有効な対策が講じられているとは言い難い。パワーハラスメントを根絶するための有効な対策として、まずは実態把握のための無記名アンケート等の実施、また、被害者が被害を訴え出ることができる外部の第三者機関窓口や調査機関の設置も視野に入れ、職員誰もがパワーハラスメントに苦しむことのないシステムを早急に構築していただきたい。東村山市役所が職員の人権がしっかり守られた職場環境となるよう、市長に強く求める。東村山市議会は、パワーハラスメントが職員の生命に関わる事態を引き起こしかねない重大な人権侵害であると認識し、あらゆる策を講じて防止に努めるべきと考え、以上決議する。

令和6年9月27日 東京都東村山市議会

野口町健康広場が廃止

野口町2丁目にある健康広場。1980（昭和55）年から利用が始まり、朝の体操やゲートボール、保育園児の散歩、盆踊りなど、地域の皆さんに親しまれた公園で、私有地を無償で借りていました。

今般、土地所有者から市に買取の申出がありましたが、市は購入しないことを決め、来年3月末をもって

て土地が返還されることになりました。

「これからは前川公園（旧シチズングラウンド）を使てほしい」（市担当）と言いますが、用途も環境も全く違います。地域に親しまれた公園をこんなに簡単に廃止していいのでしょうか。



健康保険証捨てないで！

12月2日から、マイナ保険証への一本化を図るため、これまでの健康保険証の新規発行が中止されました。

「もう使えないと思って捨てちゃった」など、市民の中にも混乱が広がっています。

あくまでも「新規に発行されない」だけで、保険証が使えなくなるわけではありません。医療機関や調剤薬局でも、「マイナンバーカードお持ちですか？」と聞かれますが、保険証でも今まで通り保健での診察や調剤をすることができま

す。

そもそも、マイナカードの発行は任意だったはずで、保険証の新規発行を中止することで、半ば強制的にマイナカードを発効させるやり方はあまりにも強引です。

こんな強引なやり方では移行ができないなら、最初からやらなければいいのでは。医療機関や市民の声を聞きながら、取り組んでいきます。



↓SNSはコチラから↓



＼困ったときは共産党に相談を／

生活保護は権利です。

年金が少ない、物価が上がって生活が大変など、暮らしのお困りごとがありましたらいつでもご相談ください。

年金や仕事、持ち家があっても生活保護を利用することはできます。

市役所に相談に行く際の同行も行っています。

お気軽にお電話ください。

渡辺みのるTEL:070-2177-7629

■東村山市議団法律相談

場所：東村山市役所 日本共産党控室

日時：毎月第1水曜日(月により変更有)

※要予約のため、渡辺までご連絡ください。

■しんぶん赤旗をお読み下さい！

日刊紙 月額3,497円

日曜版 月額 930円

お申込み、お問い合わせは

渡辺みのるにご連絡ください。

TEL：070-2177-7629

～渡辺みのる子育て日誌～

最近3女のわがままっぷりが激しさを増している。なんでも自分の思い通りにならないと、大声で泣きながら地団駄を踏んで、姉たちを困らせている。

今は次女と同じ部屋で過ごしているのだが、とにかく片付けをしない。半分自分の部屋を汚される次女は、「片づけて」「これが終わったらやって」といって何とか自分のものくらいは片づけてもらおうとしている。

それでも3女は「やだ」「めんどくさい」と手をつけず、最後は次女が「言ってもやってくれない」と泣き出してしまう。

まだまだ3女は1年生。私たちが根気よく教えながら一緒にやっていかなきゃいけないのはわかってはいるが、次女のストレスは相当なものだろう。